

5 中学校編

(1) 各教科の結果・分析の概要

【国語】

話の内容や構成を正しく聞く力、説明されている内容や場面の状況及び筆者の論理の展開を正しく理解しながら読む力、漢字を正しく読む力や、慣用的な表現や修飾語・敬語に関する正しい理解などが身に付いている。

話し手の説明の仕方の工夫や、司会者の進め方の工夫を考えながら聞く力、相手や目的に応じて情報を取捨選択したり表現を工夫したりして書く力、文章や資料、グラフや図表等を読んで考えたことを根拠や理由を明らかにして決められた字数で書く力などは今後一層高めていく必要がある。

【社会】

地理的分野では、八方位の活用や縮尺を用いて距離を求めること、統計資料等からデータを正しく読み取る力は身に付いている。歴史的分野では、時代の特色を示すことがらや代表的な資料の内容についておおむね理解できている。

地理的分野では、時差の計算や等高線の読み取り、数値のグラフ化、略地図を描くなど、地図等を活用する力を、歴史的分野では、年表の基本的な事項や各時代の文化財の特色についての理解や、複数の資料から読み取り自分の考えを記述する力をそれぞれ一層高めていく必要がある。

【数学】

正の数、負の数の計算技能、文字式の同類項をまとめたり分配法則を用いたりする計算技能、一次方程式や連立方程式を解く力が身に付いている。また図形の性質を使って角度を求める力、反比例で対応する値を求める力、一次関数をグラフに表す力が身に付いている。

文字式の表す意味をよみとる力や、整数の性質を文字を使って説明する力、比例や一次関数において表やグラフから式を求める力、証明の中の仮定や結論を理解し、正しい証明を考える力などについては今後一層高めていく必要がある。

【理科】

刺激を受け無意識に反応するしくみなどの基本的な内容はよく理解されている。また、だ液がデンプンを糖に変えることを複数の実験結果から論理的に考え説明するなどの科学的な思考力、電流計の正しい目盛りの読み方などの観察・実験の技能はおおむね身に付いている。

水溶液の性質や圧力、電流、電圧等のきまりを使って考えるなど、学習を通して見いだしたきまりを適用する力や、化学変化を化学式で表わして説明するなど、事実をもとに考えたことを学習内容を活用して適切に表現する力については今後一層高めていく必要がある。

【英語】

日常生活でよく用いられる慣用表現を適切に用いる力、短い英文から具体的な内容を正しく聞き取ったり、ある程度まとまりのある英文から大まかな内容を聞き取ったりする力、ある程度まとまりのある英文を読んで、具体的な内容を正しく理解する力はおおむね身に付いている。問かけから話し手の意向を理解して適切に回答したり、文章や会話の流れから文脈に合う英文を選択したりする力、伝えたい内容が読み手に伝わるように適切かつ正しく表現したり、内容を整理してまとまりのある英文を書いたりする力は今後一層高めていく必要がある。